

様式第3号(第7条関係)

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 平成29年度第1回水戸市協働推進委員会
- 2 開催日時 平成29年6月1日(木) 午後1時30分から午後5時15分まで
- 3 開催場所 水戸市国際交流センター 多目的ホール・実習室
- 4 出席した者の氏名
- (1) 委員 金本 節子, 大野 覚, 金成 滋, 鹿倉 よし江, 石川 浩之,
斎藤 寿子, 羽石 英司
- (2) 執行機関 【市民生活課】課長 笠原 昭彦, 副参事兼課長補佐 海老澤 守,
協働係長 橋崎 真哉, 主幹 長島 望
【生涯学習課】副参事兼課長補佐 上田 航也
【公園緑地課】課長補佐 鶴井 昭宏
【商工課】主事 杉本 祐司
【高齢福祉課】高齢福祉係長 美齊津 諭代, 主幹 木村 陽子
【環境課】課長補佐 細谷 洋祐, 主幹 近藤 雄希
【観光課】事業係長 佐藤 健太, 主事 川野邊 俊
【文化交流課】課長 菊池 浩康, 主幹 安見 知浩
【農政課】課長補佐 後藤 俊之, 企画係長 長谷川 修
- (3) その他 Play_Park310
グローバルフェスタいばらき実行委員会
株式会社 I F P
渡里湧水群を活かす会
株式会社 日宣メディックス
グローバルキグループと支える会
一般社団法人 茨城県健康生きがいつくり協議会
- 5 議題及び公開・非公開の別 協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」に係る平成28年度
実施事業の事業報告会(公開)
全体審議(非公開)

- 6 非公開の理由 (全体審議)
- ① 公にすることにより，当該団体の権利，競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるため。
 - ② 公にすることにより，率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれ又は不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあるため。

7 傍聴人の数(公開した場合に限る。) 3人

8 会議資料の名称 平成28年度実施事業の概要

9 発言の内容

【事業報告会】

事務局	(開会の挨拶，進行についての説明)
委員長	ただ今から，平成28年度水戸市協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」の事業報告会を始める。平成28年度に実施した7事業について，協働事業者と市担当課から，事業の概要，協働による効果，成果などについて発表していただく。
協働事業者 生涯学習課 公園緑地課	〔発表：「外遊び」の力を次世代へ～子どもの力を地域の力に～〕
委員	<p>本提案制度を活用して協働事業を実施する際，事業費の1割が自己負担となり，事業規模を拡大しようとするとき自己負担が増加していくことなど，活動する際に苦勞した点に共感する。本制度のあり方について，委員会としても検討していく点があるのではないかと感じている。</p> <p>子ども達が，多世代と交流しながら，ゆとりの時間を過ごすことができる本事業は貴重であったと思う。2年間で事業が終了となることは大変残念である。この2年間の経験を踏まえ，今後，何らかの形で行政と連携していく見通しはあるか。</p>
協働事業者	<p>プレイパークの開催回数自体はあまり多くなかったが，この2年間でリピーターとなってくれた子どもたちが何名かいた。その中に，リーダーシップを発揮している男の子がいた。学校では，部活動にも参加せず，とてもおとなしく，教員たちも気にかけていると，プレイパークに訪れたその子が所属する中学校の教員が話していた。</p> <p>そういった子が，プレイパークでは小さい子をうまく巻き込んで，一緒に遊んでくれていた。その話を教員に伝えると，安心したようだった。今後，公教育との連携も検討できればと思う。</p>

委員	<p>開催を心待ちにしていた子ども達もいたとのことで、とても良い事業だったと思う。</p> <p>事業費の1割というのが負担になっていたとの報告があったが、参加費の徴収等は検討したことがあるか。</p>
協働事業者	<p>参加費の徴収については、何度か検討したが、徴収することで、子ども達がプレイパークに参加しにくくなることが想定されたため、行わなかった。</p> <p>以前、ボランティアで活動していた際も、プレイパークの参加費は徴収していなかった。ただ、プレイパークを開催する際には、必ず保険に加入していたので、会場に保護者が来場している場合には、保険料分の金額の寄付依頼を行った。</p>
委員	<p>人間形成の上で、危険予知能力等を育てていくということは、とても大切だと思う。本事業では、そういった能力の育成に視点を置いており、素晴らしい事業だと思う。事業実施にあたり、予算捻出のために、スポンサー募集等を行ったことはあるか。</p>
協働事業者	<p>スポンサーの募集は検討したことがあった。スポンサーがいることで、事業規模の拡大や、事故があった際の責任問題などが想定されたため、実際には募集しなかった。プレイパークに専門のスタッフを配置できるようになるなど、より安全管理を徹底できる状態になれば、現実的にスポンサー募集を考えられるのかなと思う。</p>
委員	<p>場所の確保については、どのように考えているか。</p>
協働事業者	<p>最終的に、ここだという場所が見つからなかった。東京都内での事例を見ると、空地を行政が買い取り、プレイパーク専用の土地としている場合が多く、また、地方では、個人宅の庭でプレイパークを実施しているところも多い。これまでの手法や規模でのプレイパーク開催は可能ではあると思うが、水戸市では、そういった形で、場所を確保することは難しいと感じている。</p>
委員長	<p>水戸市内全域を探しても、実施に適切な場所が見つからないというのは、課題だと思う。今後の継続した活動に期待したい。</p>
協働事業者 商工課	<p>〔発表：外国人が買い物し易い商店街づくり〕</p>
委員	<p>28年度事業を実施していく中で感じた課題、そして、その反省を29年度事業にどのように反映させていくのか、担当課にお伺いしたい。</p>
商工課	<p>28年度は「海外の商品や料理を楽しめるMAP」を作成したが、作成のみにとどまってしまった。マップを見た外国人の方が、どれだけ中心市街地の店舗に足を向けてくれるかということが課題だと思う。29年度はマップに関するアンケート調査等を行い、しっかりとその効果測定を行いたいと考えている。</p>

委員	作成したマップは、どのような形で配布を行ったか。
協働事業者	マップ作成に協力してもらった商店街の37店舗に配布，在住外国人の利用が多い水戸市国際交流センターの窓口にも設置した。また，日本語学校や，茨城県国際交流協会を通じ，日本語教室の研修会等で配布を行った。茨城大学の留学生センターや，常磐大学の国際交流センターなどにも協力いただいている。
委員	子ども達にとって，グローバルフェスタのような，グローバルな視点で様々な料理や商品に触れることができる機会は重要であると思う。年に1回イベントを開催するだけでなく，他市町村で開催されている国際交流関係のイベントも参考に，子どもたちの国際教育にもつながるような事業展開がみられると良いと思う。今後の事業展開については，どのように考えているか。
協働事業者	イベントだけにとどまらず，今年度開催予定の多文化理解教室などを通じ，そういった事業展開も検討できればと思う。
協働事業者 高齢福祉課	〔発表：セカンドライフを考える～幸せシニアライフ講座～〕
委員	本事業は，これからますます需要が高まる事業であると思う。受講者の意見に「働いている家族のために，日曜日に開講してほしい」との意見があったが，今年度，日曜や平日の夜の開講などは検討しているか。
高齢福祉課	29年度については，今のところ，土曜・日曜に開催する予定はない。本事業の対象者は，まずは高齢者の方であり，高齢者の方が参加しやすい平日の日中に講座を設定している。 今後の事業展開の中で，対象を高齢者だけでなく，その家族に拡大する場合には，開催曜日や日時を改めて検討していきたいと思う。
委員	講座内容が多岐に渡っているが，それぞれのテーマの講師の選定はどのように行っているのか。
協働事業者	私が所属する相続問題を取り扱うNPO法人の会員に，弁護士や司法書士などが在籍しており，テーマに応じて協力を依頼している。
委員	28年度は8か所で1回講座を開催し，29年度は4か所で2回ずつ講座を開催するとのことである。29年度は，駐車台数を確保できる会場を選定したとのことだが，29年度の会場は既に決定しているのか。
高齢福祉課	7月に開催する講座は，赤塚のボランティア会館の大会議室での開催を予定している。10・11・12月に開催予定の講座については，会場は未定だが，茨城県の生涯学習センター，内原中央公民館，水高スクエア内にあるもくせいを検討している。
委員	決算報告において，対象経費となっている諸謝金と，対象外の諸謝金があるが，その違いはなにか。

高齢福祉課	対象経費分の諸謝金は外部講師に対する謝金であり、対象外としているのは、協働事業者に対するものである。
委員	各回の出席者数にだいたいばらつきがあるように見えるが、その原因としては、どのようなことが想定されるか。
高齢福祉課	<p>昨年度は、7月から11月にかけて講座を開催したが、台風の影響で、開催日時や会場の変更を余儀なくされた回があった。そのため、当初申込した方のうち、キャンセルせざるを得なくなってしまう方もいたようである。それ以外にも、体調不良によるキャンセルや、会場の駐車場に駐車できず、参加しなかった方もいるようである。直接的な原因とは限らないが、こういった理由でキャンセルが続いてしまった。</p> <p>28年度の反省を踏まえ、29年度は、暑い時期を避けて、7・10・11・12月の開催を予定している。</p>
委員長	参加者の平均的な年齢はどのくらいか。
高齢福祉課	64歳以下の方も参加しているが、65歳以上の方が8割以上を占めている。また、80歳以上の方も何名か参加している。
協働事業者 環境課 公園緑地課	〔発表：渡里湧水群の保全と活用〕
委員	素晴らしい活動をされており、活動に敬意を表したい。視察研修を行ったとのことだが、視察先はどこか。
協働事業者	28年度は、福島県楡枝岐村にあるミニ尾瀬公園を視察した。今年度は、東京都東久留米市にある南沢湧水地、栃木県栃木市にある渡良瀬湧水群の視察を予定している。
委員	広く市民に向け、整備した遊歩道をPRするマップを作成してみてはどうか。
協働事業者	訪れる人も増えてきたので、現地に案内看板は設置した。当初に比べると、現地はだいぶ整備されつつあるが、まだ一部危険個所が残っており、マムシの生息も確認されている。現段階で周知すると、事故の可能性もあるため、さらに整備が進んだ段階で、マップの作成を検討したい。
委員	29年度で本制度を活用しての協働事業は終了となるが、保全活動には長い年月がかかると思う。今後の見通しはあるか。
協働事業者	現地の危険個所は、あと1か所を残すのみとなった。当該箇所の補修が終了すれば、当初の事業目的はほぼ達成できたのではないかと思う。これまでの2年間の活動の中で、物置等を設置するなど、会員が活動しやすい環境も整えられたので、引き続き、活動を継続していきたい。

委員	消耗品費の決算額が、収支計画より15万円ほど減額になっている。予算管理についてお伺いしたい。
協働事業者	本提案制度では、備品が購入できないため、購入にあたり、備品か消耗品かの判断が難しく、購入を見送ったものがあった。また、消耗品の消費が想定より少なかったこともあり、収支計画より消耗品費が減額となっている。
委員長	協働事業として整備がここまで進んだことや、今後の課題について、担当課としてどのように考えているか。
公園緑地課	現時点で、明確なプランはお答えできないが、本事業は、これまで地域住民も含めて協働で進めてきた事業なので、引き続きバックアップしていきたいと考えている。
委員	台渡里官衙遺跡群との連携について、お伺いしたい。
公園緑地課	本事業は、担当課が市の複数課にまたがっており、現時点で、具体的な計画についてはお答えできない。
委員	昨年度、現地を視察し、整備活動をしている皆さんの苦労を感じることができた。報告書に、現地に路上生活者が居住していたとあったが、退去までの経緯についてお伺いしたい。
協働事業者	路上生活者の居住を確認してから、本人とこまめに接触を図り、退去するよう話していたが、なかなか退去には至らなかった。昨年に、台風、大雨による被害が現地を襲ったことをきっかけに退去したようだ。
協働事業者 観光課	〔発表：谷中二十三夜尊骨董市賑わい創出事業〕
委員	納涼祭が復活するなど、二十三夜尊エリアは賑わいを取り戻しつつあると思う。骨董市開催後に、出店者側に対して、満足度などを聞く機会はあったか。また、歴史観光ボランティアによる園内散策ツアーにはどれほどの参加があったか。
協働事業者	出店者については、商品力の差でどうしても売上のある店舗とそうでない店舗に分かれてしまい、満足度の高い出店者もいれば、満足せず、来場者の増加を事務局へ要望する出店者もいる。
観光課	園内散策ツアーについては、第1回、第2回は10時～、12時～、14時～の3回、第3回は、10時～、12時～の2回実施した。それぞれ30分から1時間程度のコースで、少ない時には6名、多い時には15名が参加した。
委員	地元との連携を図るにあたって、苦労されたこともあると思うが、今後の地元との連携体制については、どのように考えているか。

協働事業者	<p>28年度は、末広町商店街青年部を中心に、運営に協力をいただき、また、地元の飲食店にも骨董市に出店していただいた。</p> <p>29年度に関しては、28年度事業を踏まえ、郷土工芸の事業者へ出店の声かけを行っている。本事業を通じ、地域産品の育成発展にも寄与できればと考えている。</p>
委員	<p>評価シートに、開催時期、頻度、駐車場についてなど、検討すべき課題が多いが、定期的に継続して開催することが重要であるとの記載があった。担当課に今後の計画についてお伺いしたい。</p>
観光課	<p>28年度は、10・12・2月の3回、骨董市を開催した。</p> <p>協働事業者と打ち合わせを行い、29年度は、偶数月の第2土曜日を開催することで、事業を開始した。6月は会場の関係で開催できないため、5月に開催予定であったが、悪天候のため、中止となった。4月も中止となっており、2回連続で開催できていない。天候リスクに対する対応は、課題の一つと考えている。8月もお盆月ということで、開催ができないが、出店者からも継続的な開催を希望する声があがっており、継続的な開催は、今後の大きな課題である。</p>
委員	<p>駐車場の確保については、どのようにお考えか。</p>
観光課	<p>昨年度は、駐車場として茨城県の生涯学習センター跡地を借用したが、いつまで借用できるか不透明な状況である。</p> <p>現在のところ、国道118号線沿いにある「あじさい広場」という駐車場の借用、あるいはロマンチックゾーン全体の駐車場をうまく活用することで、ロマンチックゾーン内の回遊につなげられればと考えている。シャトルバスによる輸送も考えているが、現時点での目途はたっていない。</p>
委員長	<p>今年度、骨董市は偶数月に開催される予定であるが、2回連続で中止となってしまったことは、残念である。</p> <p>イベントとして周知されつつあるところに、次の開催までに約半年間も期間が空いてしまうのは大きな課題だと思う。継続性の確保に向け、中止の際の振替日の設定なども検討してほしい。</p>
観光課	<p>開催日の設定については、今後、出店者と調整のうえ、検討したい。</p>
協働事業者 文化交流課	<p>〔発表：スマイルアースプロジェクト～外国人も日本人も住みやすい地域をつくる～〕</p>
委員	<p>ワークショップを実施したのは、良いと思う。ワークショップの結果を踏まえ、29年度事業のメインテーマを「外国人の子育て」に設定したとのことだが、ワークショップでは、子育て以外のテーマについても、様々な意見が出たと思う。今後、子育て以外のテーマにも取り組む予定はあるか。</p>
協働事業者	<p>29年度のメインテーマは子育てとしたが、可能な限り、ワークシ</p>

	<p>ヨップで抽出されたそれ以外のテーマについても取り組んでいきたいと思う。</p>
委員	<p>広報紙の内容が、とても充実していると思う。広報紙の中で、「外国人が抱える生活の中の課題」を取り上げていたが、実際に感じている課題を挙げてほしい。</p>
協働事業者	<p>子育ての次に、生活の中で感じる課題として挙げられていたのが、漢字が読めず、理解することができないということで、標識に関するものであった。また、バスの路線図についても、理解が難しいという意見が出されており、路線図の外国語表記にも取り組んでみたいと考えている。</p>
委員	<p>多くの人に活動内容を知ってもらうことも重要である。この広報紙を活用して、PRを進めていくと良いと思う。</p>
委員	<p>活動内容は異なるが、同じ国際交流に関する協働事業を実施しているグローバルフェスタいばらき実行委員会と団体間の交流はあるか。</p>
文化交流課	<p>現在のところ、団体間の交流はないが、グローバルキグループを支える会のメンバーの中には、個人的にグローバルフェスタいばらき実行委員会の活動に関わっているメンバーもいる。</p>
委員	<p>広報紙に掲載されているアンケート結果の中で、災害に関する内容が気になった。水戸市は、多言語での災害情報の提供を検討しているのか。</p>
文化交流課	<p>現在、県の国際課が中心となって、各市町村が災害時に外国人支援をどのように行っていくか、協議を進めており、水戸市だけでなく、県内全域の市町村のネットワークづくりも始まっている。水戸市として、何かすぐに始められるという状態ではないが、今後、1、2年のうちに、支援の動きは進むものと考えている。</p>
協働事業者 農政課	<p>【発表：水戸オーガニ蕎麦プロジェクト】</p>
委員	<p>蕎麦を食べることは好きでも、農作業に対するハードルが高く、参加をためらう人は多いのではないか。一つのアイデアとして、農作業後の休憩の際に、そば粉を使ったスイーツなど、普段の生活では食べることができないような料理を提供してみてはどうか。有機栽培ということに加えて、なにか本事業ならではの独自性を出し、PRにつなげてみてはどうか。</p>
協働事業者	<p>ぜひ参考にしたい。</p>
委員	<p>栽培体験への参加者が少なかったために、収支計画と決算に開きが生じてしまったことは理解できるが、内訳も大幅に変わっており、見積が甘かったと言わざるを得ない。事業計画、収支計画をしっかりと立てないと、事業を実施していく中で、当初の事業目的からず</p>

	<p>れが生じてしまうと思う。</p>
協働事業者	<p>想定以上に、農作業が事業の中心となってしまったため、収支計画と決算に大きな開きが生じてしまった。やはり参加者の少なさに、大きな原因があると思うので、今年度、参加者募集の方法について、改善に努めていきたい。</p>
委員	<p>収支計画において、参加費等として138,000円の収入を見込んでいるが、決算では、参加費等による収入は38,000円となっている。やはり、参加者が少なく、参加費が集まらなかったということか。</p>
協働事業者	<p>別事業による参加費等の収入はあるが、本事業における収入ではなく、決算書にはあくまで本事業の参加費等の収入額を記載している。また、その他、栽培した野菜等の販売により、収入を得ている。</p>
委員	<p>本事業は、広大な敷地を利用して蕎麦栽培を行っているが、蕎麦以外の野菜などは栽培していないのか。栽培から収穫、蕎麦を食べることができるまでに、ある程度時間がかかるので、蕎麦以外の野菜を栽培して、農作業の参加者に栽培した野菜を配布したりするなどの取組を行ってみてはどうか。事業に興味を持った人が参加しやすくなるよう、付加価値を見出していくことも重要ではないか。</p>
協働事業者	<p>既に何種類か野菜を栽培しており、配布はしている。</p>
委員	<p>そのことについて、積極的にPRを行っているのか。</p>
協働事業者	<p>「オーガニ蕎麦プロジェクト」ということで、その他の野菜の栽培については、積極的にPRしていなかった。例えば、大豆を栽培しており、その大豆を使って、味噌作りなども実施している。</p>
委員	<p>そういった取組をしているのであれば、今年度の広報活動の手法を改めて検討してみてはどうか。</p>
委員長	<p>特に、都市部からの参加者募集にあたっては、交通費をかけてもこの事業に参加したいと思えるほどの魅力が必要になる。今後は、蕎麦だけでなく、付加価値を見出すことにより、広報活動を進めていくとよいと思う。</p> <p>[閉会の挨拶、報告会の公開について説明]</p>